

まいすてっぷ児童発達支援自己評価（令和7年1月実施 療育従事者5人中5人回収 回収率100%）

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。	5	0	0	運動のスペース、学習のスペースを分けて療育ができています。
	②	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	5	0	0	配置通り行っている。担当職員が保護者様の対応をしている間も他の職員で見守りをし安全面に配慮している。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	0	構造化や視覚支援を取り入れている。取り外し式のスロープがある。車いすでも対応できるようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	0	消毒、換気の徹底などを心掛けている。余計なものは置かず、安全にも配慮している。
	⑤	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	0	内容や状況に応じて使い分けている。
業務改善	⑥	業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	0	必要に応じてスタッフ間で情報共有している。それぞれの業務が異なるため不明な部分もあるが、療育においては気軽に相談できPDCAに直結できると感じる。児発管を中心に相談、検討しながら進めている。
	⑦	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、業務改善につなげているか。	5	0	0	内容についての把握と共通理解が時間をおかずに行われていると感じる。（情報の共有が行いやすい職場環境のため）
	⑧	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	定期的に職員アンケートを実施しており、年に1回以上は面談の機会を設けている。そこで上がった意見を参考に業務改善につなげている。
	⑨	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	0	今後実施できるようにつとめたい。
	⑩	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5	0	0	隔週で職員研修の実施を行い、各委員会の研修や療育の質の向上を目的とした演習を実施。また外部研修への参加。
適切な支援の提供	⑪	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	0	ホームページに3月に掲載している。
	⑫	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	0	聞き取りや検査をもとに作成している。
	⑬	児童発達支援計画を作成する際、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもに係る職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	0	計画を作成する際、担当職員に丁寧な聞き取りが行われている。また、日頃から子どもについての共通理解は職員間でよく行われている。
	⑭	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	0	児童発達支援計画書は作成後、職員間で共有するようにしており、疑問点はその場で検討している。その後、計画書に沿って支援を行っている。
	⑮	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	0	K-ABC II、DN-CAS、WISCIV等を実施している。
	⑯	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	0	児発管、担当スタッフ等と具体的に話をすることで支援内容の検討を行い、会議等で連携を図っている。また、計画書に内容を記載している。
	⑰	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	0	児発管を中心にかかわる職員で意見を出し合いながらすすめている。

チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	0	子どもの様子を確認しながら、活動内容の変更や発展を相談しながら行うことができています。その子によって固定することもあるが、その中で少しずつステップアップしていくようにしている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	0	基本個別だが内容や目的が合えば一緒に活動することもある。また自由遊びは集団になることもある。	
20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援が行われているか。	5	0	0	療育前に職員間で打ち合わせをし、スムーズに療育が行えるようにしている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	5	0	0	毎回、療育者と遊びに入ったスタッフで気づきを共有している。	
22	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0	毎日、利用された方の記録は必ず行っている。また、次どうするかということについても、検討し次回のご利用につなげている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しをしているか。	5	0	0	最低でも6ヶ月に1回はモニタリングを実施し、計画書の見直し、作成を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	0	担当スタッフ又は児発管とし、その子の状況を把握できている職員が参加するようにしている。
	25	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なう体制を整えているか。	5	0	0	会議への参加や情報共有を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援などインクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際保育園、幼稚園等との間で支援内容の共有と相互理解を図っているか。	5	0	0	可能な限り相互理解、情報共有が行われていると思われる。
	27	就学時の移行の際、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	0	会議への参加や情報提供を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや、障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は事業所のみ回答) 地域の児童センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	0	現在はできていない状態。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	0	園や地域での交流をする機会は作っていない。いつもの流れを変えたりすることで不安定になりやすいため、現状難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	0	毎回療育後にフィードバックの中でお話しする中で、情報を共有し、共通理解を図ることができている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	0	掲示や公式LINEを通じて情報共有がなされている。	
保護者への説明責任等	35	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	0	契約時に行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際は、こどもや保護者の意向の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	0	少なくとも6ヶ月に1回は聞き取りをする時間を作り、ご意向の確認を行っている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	0	児童発達支援計画を示し、一つ一つわかりやすく説明するようにしている。その際必ず質問はないかと確認し、同意をいただいている。

チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0	毎回フィードバックの時間を作り家族からの困り感に関する助言や提案を行っている。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	0	茶話会が実施された。また、兄弟同士の交流は行っていない。	
40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	0	個別に対応が行われている。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	0	公式LINEやまいすてっぷ新聞を使用して発信している。	
42	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	5	0	0	利用者名の一部を伏字にするなど特定されないよう注意を払っている。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	療育後に保護者様へフィードバックする時間を設けており、しっかりお話しできるよう配慮している。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	0	夏休みや冬休み等を利用して、行事を開催しているが、地域住民を招待することはできていない。子どもたちにとって知らない人が急にいることは不安でしかないため今後の課題ではある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	0	マニュアルを作成し、職員研修を実施。職員には研修の報告を閲覧し、保護者様にはまいすてっぷ新聞にて周知を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	5	0	0	業務継続計画については策定している。年に2回、水害と地震、火災については避難訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	0	服薬の状況は、契約時に確認している。またてんかん発作があった場合の対応を明確に文章にまとめるなどして該当者のカルテに貼付
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	0	食事の提供はないがお菓子をごほうびで渡すので、アレルギーがないか、出さないほうがいいお菓子がないか保護者様に契約時に確認を必ず行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	0	安全計画を作成し、毎月道具等の点検を実施し、計画通りの研修を定期的に行っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	0	避難訓練などが行われる際は訓練の内容や子どもの行動などをフィードバック時にお伝えしている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	0	ヒヤリハットが起きた時には書類に記入、閲覧することで共有できている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0	虐待防止の研修を定期的の実施している。全職員での研修を行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明して了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	0	職員全体で研修をし、身体拘束については個別支援計画書に記載し、保護者に説明、ご理解いただき同意をいただいている。	

※同意見は割愛